

令和4年度3学期始業式（高校）

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

さて、3学期が始まりました。今年最初に皆さんに話したいことですが、私がたまたま観たTV番組の話をしてします。皆さんの中にはこの番組を知っている人もいないかと思いますが。

この番組、一人のモノローグで進行していきます。今回は佐賀県出身のある青年が語っていきます。小学生の時に野球チームに入って1人のチームメイトからいじめを受けます。それが監督の息子ということもあり、訴えることが出来ませんでした。そのうちに、いじめが広がっていき、学校でもいじめを受けます。教室にも入れなくなります。誰もが通らない階段が居場所になります。中学校に上がっても同級生たち皆、同じ中学校に上がるために状況は全く変わりません。

家庭はと言うと、父親は出稼ぎで相応の仕送りがあるものの、母親は夜になると出て行ってしまいます。お金がなく、食べるものに困り、「ノートを水に浸して柔らかくして食べた」こともありました。まさに親からのネグレクトを受け、極貧生活を送ります。学校のことに戻りますが、中学校の居場所は校舎の路地、相変わらず居場所がなく、そこで見つけた方法が不良仲間に入ること。そうするしか居場所がない、仲間もいない。最初はひ弱で感じであり、仲間に入れてもらえませんでした。ずっと彼らの後についている内に入れてもらえるようになります。画面には金髪でバイクにまたがった様子が映ります。

そのうち父親は家に戻ってきたものの、母親は家を出て行ってしまいます。中学の卒業を待ってなければいけぬお金を持って夜に家出をします。たどり着いたのが福岡、そこで仕事を探しますが、何の資格もなく、やっと得た仕事が建設業、土嚢を運ぶか、穴を掘り続けるかの仕事です。朝6時から夕方6時まで働いて、日当が6千円。最初は寝る場所もなく、倉庫や車の中に泊まらせてもらいます。やっとアパートに住むようになってもガス代を節約するために、パスタ麺を水に浸して食べるという生活を送っていました。正月早々、このような非常に重い話をして申し訳ないのですが、続きを聞いて下さい。

彼は、その職場の仕事が終わると次への職場と転々としていきます。その度に履歴書を提出するわけですが、本人曰く、「中学卒といういことで、えっという顔で見られ続けた」。彼は初めて自分を、心の底から「変えたい」「変えなければ」という強い気持ちに駆られたです。「学ばなければいけない」と思い、高等学校卒業程度認定試験の受験を目指します。そのため問題集、参考書を購入しますが、全く解らない。それもそのはず、小学校4年生からまともに学んでいません。まず文字が読めるようにと、小学校3年生からの漢字ドリルを何十冊も購入します。そうして必死に勉強し始める。数学とかはどうしようもないため、友達でもなく、ほとんど話したことの無いのですが、ある同級生の電話

番号がケータイに入っていたので、連絡し頼んでみると、快く教えてくれたのです。そうしてその繋がりは何人かに広がっていきます。社会や理科の勉強法も教わります。そうして20歳の時、試験を受けます。通知が届くその日が変わっていたので、郵便受けの前でずっと待ちます。そうして通知が来ました。即刻その場で封を開けました。「合格」の文字、彼は号泣しました。

その1年後、福岡大学に合格。現在は税理士を目指しています。大学の仲間は彼のことを評して、「非常に勉強熱心で常に『なぜこうなるのか』という意識を持って学んでいる。論理的な思考にも優れている」、教授は「彼は税理士もよいけれど、大学の教員か研究者になった方がよい」と言います。彼は大学院に進みます。最終的にはどうしたいかは語りませんでしたか、彼の「変わりたい」「学びたい」が、絶望と言える状況から彼を救い、今の彼を形成していることには間違いありませんでした。

どのような状況であっても、自分を諦めずに強く願い、強く思い、困難に負けずに行動を起こし、地道に努力していけば必ず道は拓ける、何度も学んできたことですが、改めて学ぶことになりました。また、誰にでも一筋の光明というものはある、彼に勉強そのものや勉強の仕方を教えてくれた同級生のような人たち、手を差し伸べてくれる人というのは必ずいるということも教えてくれました。

皆さんの中にも実際、「変わりたい」という思いを持って頑張っている人たちはたくさんいると思います。例えば昔は学校に行けなかったが、今はこうして行けている、全国大会出場を目指す部に入って最初はついていけないと思ったが、踏み留まって努力しレギュラーになった、試合に出られなくても最後まで部の一員としてやり遂げた、今まで勉強をあまりしてこなかったが、仲間の影響を受けて自分もやるようになった、人付き合いが苦手であったが、挨拶をするようになったら相手に笑顔で返され幸せな気持ちになったなど、そうした芽を大きく育ててほしい。今、どうしたらよいか分からない、やっても上手くいかない、もがいている人も多いと思います。しかし、誰でも必ず種は持っています。それに「思い」という水をやり、「努力」という肥料をやり、根気強く育てて下さい。

令和5年、誰もが「幸せ」になってほしい、私は心から願います。皆さんには、一筋の光明どころか降り注ぐ太陽の光があります。学校は私たちは皆さんが幸せになる、その目的のためにできる限りのことをする覚悟です。互いに頑張りましょう。